

## ～ アルパインクライミング ～

### 八ヶ岳小同心クラック！

山行日：9月11日～12日

参加者：M田(L)、S藤M(SL)、S木M、会員外、S藤H(記) 計5名

コースタイム：

【一日目】松戸6:00＝八ヶ岳山荘9:50－赤岳鉱泉13:20

【二日目】赤岳鉱泉4:30－大同心基部6:10－小同心基部6:40/7:10 登攀開始

－小同心頭9:50－南横岳山頂10:30/10:50－硫黄岳山頂12:00

－赤岳鉱泉13:35/14:00－八ヶ岳山荘16:20

Aグループ：宮田、鈴木、齋藤

Bグループ：佐藤、会員外

私にとって、初のアルパインクライミング！美濃戸山荘の駐車場は満車の為、美濃戸山荘まで1時間余計に歩く。共同装備は担当別に分けガチャものを積み、やっぱり…1番重い。赤岳鉱泉に到着後、受付・コロナ問診票を記入後、辺たりを散歩。小屋に戻り別ルートで到着した佐藤さんと合流。明日の登攀に向け手順の確認。夕食は「ステーキ・サラダ・きのこスープ・フルーツ」とても山小屋の夕食とは思えない豪華さでとても美味しかったです。

翌朝4:30 気温12℃赤岳鉱泉を出発。2時間ほどで小同心取り付きに着く。先行グループが登攀準備をしている。昨日挨拶を交わした2人組。Aグループが2番手、日差しもなく風が少し吹き付け、寒さで体がシバリングする中、登攀準備、パートナーチェック。

【1P目40m】宮田さんがリードクライマー、鈴木さんがピレイ、齋藤は3番手。

宮田さんが登っていく姿を下から眺めるのはいつもの事で、宮田さん・鈴木さんが快適に登っていました。ガスのせいで小同心の全体が見え難く、出だしは緩やかでどこからでも登ることが出来そうでした。宮田さんから「登ってきて来て下さい」とコールがかかり初本チャンの始まり！岩がゴツゴツとしてホールドはつかみ易く順調。チムニーに入ると傾斜が増し、高度感の迫力でゾクゾクする。岩トレとは大違い。ホールド、スタンス共に豊富なのですが、落ちたらいけないと半端ないくらい慎重になり、岩のぐらつき、剥がれに注意しながら登り宮田さん・鈴木さんのもとへ到着。ホッと一息つく。

【2P目35m】最初のトラバース部分の足掛りにちょっと苦戦（怖かった）、再びチムニーに入りステミングで登る。クラックに体がすっぽり入るので高度感が薄れたのは助かったが、眼下を覗くとひょえ～！でした。後続の佐藤グループは難なく登って来ており、その後のグループは下で順番待ち、渋滞していました。

【3P目15m】3P目の出だしの被り気味のクラックを手前のあたりを登り、陽の当たるところに出て終了。小同心の頭に到着。周辺の阿弥陀、赤岳が望め、最後に横岳直下の岩場を登り2829m横岳山頂に到着。

技術はまだまだ浅いけれどもアルパインクライミングを目標にロープワーク、ジムトレ、岩トレを重ね、本日無事に着地できた事に気分は最高ー！次はビレイヤー・リードクライマーとして技術を習得し、上を目指していきたいです。

硫黄岳経由で赤岳鉱泉に帰ってきました。八ヶ岳山荘に着いたのは16時過ぎ、早朝からこの時刻まで宮田さん、鈴木さん、佐藤さん本当に有難うございました！

